

平成 28 年 1 月

図書館管理ソフト開発ベンダー各位

日書連 MARC 提供主体及び提供方法変更のご案内

日書連 MARC データセンター
株式会社 教育システム
代表取締役 長尾幸彦

一般社団法人 日本図書館事業協会
代表理事 常世田 良

日頃は日書連 MARC のご拡販に尽力いただきありがとうございます。標記の件につき下記の通りご連絡申し上げます。大変お手数をおかけいたしますが事情をご賢察の上了承くださいますようお願い申し上げます。

記

提供主体の変更

日書連 MARC は従来、日本書店商業組合よりデータセンター業務の委託を受けた株式会社教育システムが全ての業務を執り行っておりましたが、その公益性に鑑み、平成 28 年 4 月 1 日より一般社団法人日本図書館事業協会にその業務主体を移管いたします。ただし、サポートデスクや開発の支援は従来通り株式会社教育システムが継続いたします。また、業務移管完了まで債権回収業務も株式会社教育システムが行いますので引き続きよろしくをお願いいたします。

提供方法の変更

現状、日書連 MARC 遡及分は司書ツール&日書連 MARC という CD メディアにより提供されています。CD メディアにはインストーラーファイルが記録されており、実行すると、インストール先 HDD には (1) 司書ツールアプリケーション、(2) MARC データベース及び (3) DLL ファイルという主たる 3 つの構成要素が置かれます。

ベンダー様には次のご対応をいただいているはずですが、

- (1) 司書ツールアプリケーションのファイル出力機能を用いて、出力されたローカルデータ付き tab 区切りテキストの読み込み
 - (2) DLL を利用して MARC データベースにアクセスする機能を貴社アプリケーションに実装
- このうち (2) に関して変更します。

影響の原因と対応

そもそも MARC データベースは MS-Access の mdb に格納されております。Mdb ファイルはご承知の通りファイルサイズの上限が 2GB です。また、使用に伴いデータベースは肥大化し、定期的な最適化処理が必要になります。MARC の mdb ファイルは今年度最適化後サイズで 1.7GB を越え、今後ユーザーによる最適化

の頻度が高まることは必至で、まもなく実用に耐えなくなる見込みです。

以上より

- 現在の MS-Access の MDB 提供及び MDB への MARC 差分配信を、平成 29 年度をもって終了いたします。(終了予定日 平成 30 年 3 月 31 日)
- ソフト司書ツール&日書連 MARC の宣伝を平成 28 年 1 月で取りやめ、出荷を平成 28 年 9 月 1 日を以て終了いたします。

代替手段

日書連 MARC に限らず、ローカルへの巨大なデータ提供はデータやりとりのハンドリングとオリジナルとの同一性保持といった課題があり、サーバーへの WEB アクセスのみで、データベースは一元管理することがトレンドです。今後はその方向で代替手段を提供いたしますので、貴社アプリケーションもご対応くださるようお願い申し上げます。

なお、提供方法の詳細に関しては平成 28 年 3 月末までにご連絡いたします。

エンドユーザー様への案内に関して

平成 28 年 2 月に日書連 MARC ユーザー様に文書でご連絡します。ポイントは次の通りです。

- 平成 29 年度で現行のデータ提供を終了し、新方式に変更する。
- 新方式によるデータ提供の方法ではインターネットのアクセスが必要である。
- 平成 28 年度中に平成 29 年度当初予算にて図書館管理システムバージョンアップとインターネットの接続両方の予算を確保いただきたい。
- 図書館管理システム会社には通知済みであり、バージョンアップの方法や経費に関しては弊社ではわかりかねるので、図書館管理システム各社にお問い合わせいただきたい。

以上

この文章に関する問い合わせ先

株式会社教育システム 長尾幸彦 電話 052-471-5219

できるだけ電子メールでお問い合わせください。

ksinfo@gakkou.jp